



見守る

武本数夫

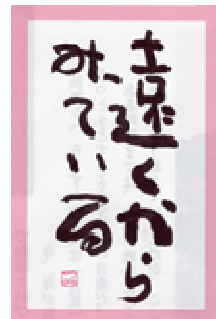
もうすぐ2月が終わります。3月1日には3年生が豊玉高校を巣立っていきます。少し早いです。3年生の保護者の皆様、おめでとうございます。きっと、「あの日、あの時にこんなこと、あんなことがあったなあ、大変なこともあったけど今はいい思い出かな」と思われる事も多いのではないのでしょうか。巣立つというと、鳥の雛が成長して巣から飛び去った後はもう親鳥には頼らず、どんなに厳しくても、それぞれに工夫し、自力で生きていかなければならないというイメージですが、それは鳥に限らず生きとし生けるものの宿命で、基本的には人間もまたその宿命を負っているかもしれません。しかし、人間は鳥のように親子関係は割り切れません。もうしばらくは、見守ることが必要でしょう。「親」という字は「立木を見る」と書きます。立木とはまさに子どものことです。少しずつ成長していく姿を見ていくのがまさに親なのです。私も正直、親子の間の「自立」をめぐる葛藤はありましたが、今は懐かしい想いがします。

大切な親子の距離の取り方について、一つの方向性を示してくれる「子育て四訓」というものがあります。

1. 乳児はしっかり肌を離すな
2. 幼児は肌を離せ、手を離すな
3. 少年は手を離せ、目を離すな
4. 青年は目を離せ、心を離すな

皆様もお子さんの乳児期には、触れ合いを大切になさってこられたことでしょう。好奇心が芽生えはじめた幼児期には、常にそばにいて「大丈夫だよ」という思いを伝えてこられたことでしょう。少年期の反抗的言動も、「信頼してくれているんだ」と受け止め、不安ながらもお子さんの活動範囲を広げてあげてこられたのではないのでしょうか。そして、青年期に入った今、未来への不安を皆さん同じようにお持ちかもしれません。ややもすると、大人たちは子どもを危険や困難からできるだけ遠ざけようとしてしまいます。人はときに困難に出会い、逆境に陥るものです。それにどう向き合うか。そのことによって、その人の真価が決まるといえます。夢や希望を失い、ただ不平不満を募らせているのではなく、逆境から逃げ出さず、覚悟して、なすべきことをなしていく人物になって欲しいと願っています。人にはそれぞれ持ち味があり、成長の仕方もそのスピードもみな違いますが、懸命に取り組んでいれば、遅かれ早かれ必ず伸びていきます。もちろん適切な指導や助言は必要だけれど、手のかけすぎは本人が本来持っている良いものを奪い、かえって成長を妨げることになることもあります。大事なものは、辛抱よく、気長に見守ることだとおもいます。

親子の距離のとりかたについて考えてきましたが、これからが、人としての実質的な自立のための大切な時期です。手を離して、目と心をつないでいてください。失敗はあるでしょうが、自分で起き上がることを信じて、目と心で見守ってください。どうしても必要なときは自然と親に助けを求めてくるものです。そのときこそ、人生の先達として、自分の人生を見せてやる。それが何よりの親としての役目であると確信します。いつの時代も、一番大切なのは「木の根」である親だということなのではないのでしょうか。立木の成長がおかしいなと思われたら、木の根である大人自身を見つめ直すことも大切なようです。そして、青年期になっても大切な「心」のつながり。心のよりどころとなる安心できる温かい居場所を築くことが何よりです。



1 学年より

3月を迎え、厳しい寒さも緩み、学校の1年の終わりを感ずる時期となりました。生徒たちが新制服に身を包んで初々しい姿を見せてくれた入学式から、はや1年。目に見える体の成長、話して感じる心の成長など、どの生徒にも確実に成長した姿が感じられることを大変嬉しく思います。社会で必要とされるのは、職務に耐えうる体力・精神力と人と関わる力です。人と関わるには、自分を主張する力、「違い」を受け入れる力、思いやる力、自分が知らない世界を見ようとする力が求められます。2学年では、上級生を敬う心、下級生を思いやる心、学級では「主張」と「受け入れ」による協調性を培い、小さくてもパワフルな豊玉高校をつくってもらいたいと願います。現在抱える学校・家庭での課題を3月でしっかりと解消し、2年生を力強くスタートさせましょう。

2 学年より

「行く1月、逃げる2月、去る3月」と言われるように時の流れが早く感じます。2年生として、過ごしたこの1年間はどうか。やりたいことはできましたか。目標は達成できましたか。自分自身でこの1年を振り返ってみてください。

3年生が卒業し4月からは、いよいよ3年生です。新入生も入学してきます。新入生は、先輩を見て成長します。良いお手本となり豊玉高校を良い方向へ導いて下さい。そのためには、1人1人が自分の言動に責任を持つことが大切です。そしてこの1年は、進路選択を迫られる人生の中で大切な1年となるでしょう。失敗や挫折があるかもしれませんが一瞬一瞬を常に全力で過ごしてほしいと思います。やりたいこと、学びたいことがあることは素敵なことだと思います。自分の道を自分で閉ざすことのないようにして下さい。

3 学年より

ご卒業おめでとうございます。

この豊玉高校で過ごした3年間で多くのことを学び成長したと思います。特に最高学年になってからは進路の取り組みがきつかったと思いますが面接指導や作文・教養試験対策など粘り強く頑張っていたと思います。みなさんがこうして卒業の日までこられたのは、保護者の方をはじめ、一緒に過ごした友人がいたからです。感謝の気持ちを忘れずに大切にしてください。感謝の気持ちをもつことで相手に対する思いやりや気遣い、礼儀をより大切にしたいと思います。

これから進学する人、就職する人、進路はそれぞれですが、喜びと苦勞が待っていると思います。初めは苦勞が多いと思いますが、自ら選択した進路先をどうか辞めないでください。進路先を変えても苦勞は必ずあります。苦しいときにどれだけ踏ん張れるかどうかでその人の人間力が試されます。現実から逃げることは簡単です。どんな困難にも負けないでください。

最後に、自分を支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れずに、何事にも謙虚に取り組んでください。卒業生の幸せを心からお祈りします。保護者の皆さま、今まで本校へのご協力、誠にありがとうございました。



の学校行事報告

進路ガイダンス

2月13日(金) 本校各教室

今年も進路ガイダンスを実施しました。この行事は、1・2年生を対象に、卒業後の進路選択をするにあたって、各分野の専門家に来校していただいて仕事内容や採用状況、待遇などについて説明をしていただくものです。生徒が具体的な進路目標を持って勉学に励むようになることを目的に、毎年この時期に実施しています。生徒は、始めに基本的なマナーについての指導を受けたあと、各会場で講座を受講しました。



ヤング講座

2月13日(金) 本校メッセ(校史資料室)

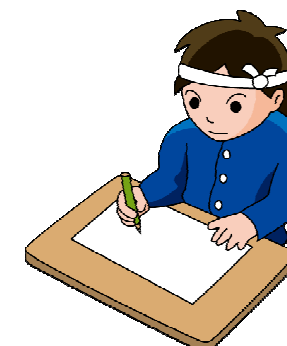
この講座は3年生を対象に実施しており、違法金融業や悪徳商法など、世の中に潜む危険の存在を知り、万が一トラブルに巻き込まれた場合の対処方法などを学びました。自分を守る力を身につけることは、とても大切なことです。



第1・2学年末考査

2月20日(金)～26日(木)

1・2年生は、20日からの学年末考査に臨みました。試験期間が土日や代休を含んだ6日間という長丁場になりましたが、その分、試験勉強にしっかりと時間をかけて取り組めたことと思います。これからも、学力向上目指して日々の学習にしっかり取っていただきたいと思います。



の行事予定

- 1日(日) 第42回卒業式
- 2日(月) 代休(3月1日分)
- 3日(火) 校内検定(一)
- 4日(水) 保健相談アンケート
個人写真撮影
- 17日(火) 校内検定(国)
- 18日(水) 容儀検査
- 23日(月) 郷土料理づくり
専門委員会
- 24日(火) 終業式
大掃除

